

3 造船業・船用工業対策等

(1) 人材の育成

今後少子高齢化が更に進み、他産業との人材獲得競争の激化が想定される中で、造船業の成長を支える人材の確保・育成の取組の一層強化が不可欠となっており、神戸運輸監理部では人材育成に関する産官学連携の強化を推進している。

(ア) 地域造船技能研修センターへの支援等

造船技能者育成のため、平成16年から地域造船技能研修センターが全国で6カ所設立された。

管内では、平成20年3月に「相生技能研修センター」が設立され、新人向けの知識・技能や専門技能の教育の場として重要な役割を果たしている。

なお、平成28年度に実施した同技能研修センターにおける研修は以下のとおりである。

- ・平成28年4月～6月 新人研修 (3社11名)
- ・平成28年7月～8月 機関仕上げ(2・3級) (6社6名) (以下は専門技能研修)
- ・平成28年9月 配管艀装(3級) (6社8名)
- ・平成28年10月 塗装(2級) (5社7名)
- ・平成28年11月 船殻組立(2級) (5社7名)
- ・平成28年12月 溶接(2・3級) (3社5名)

神戸運輸監理部では、同技能研修センターに対し、地域の造船技能研修センターとしての運営、機能強化・拡充等に向けた支援を続けている。

(イ) 造船・船用企業との連携

造船・船用企業で就業する若手従業員を対象に、新人研修会を平成28年10月に開催し、午前は「船の基礎知識と造船・船用工業の現況」をテーマに講演、午後は神戸港停泊中の(独)海技教育機構練習船「青雲丸」での運航実務研修を行い、16名が参加した。

(ウ) 教育機関との連携

神戸運輸監理部では、次世代の海事産業の担い手を育成するため、兵庫県高等学校教育研究会と連携して、工業高校の教員・生徒を対象にさまざまな研修を実施している。

平成28年度の実施状況は以下のとおり。

(生徒対象)

- ・平成28年 7月 (独)海技教育機構海技大学校施設見学(生徒6名、教員3名参加)
- ・平成28年 7月 ヤンマー(株)エンジン研修(受講生5名参加、見学者9名参加)
- ・平成28年 8月 神戸大学練習船「深江丸」体験航海(生徒17名、教員3名参加)
- ・平成28年 8月 神戸村野工業高等学校溶接技術特別授業(生徒9名参加)
- ・平成28年 9月 川崎重工業(株)神戸工場進水式見学・海事分野の講義(生徒5名、教員6名参加)

- ・平成29年 3月 兵庫県立東播工業高等学校出前授業（生徒78名参加）
（教員対象）
- ・平成28年 8月 古野電気（株）三木工場見学（教員7名参加）
- ・平成28年12月 関西鉄工（株）本社工場見学（教員3名参加）

※「深江丸」体験航海は近畿運輸局と共催、関西鉄工（株）本社工場見学は神戸船用工業会主催。

(2) 造船業における労働災害防止指導

造船所における労働災害事故防止のため、昭和58年5月から、造船事業者等が「全国造船安全衛生対策推進本部」を設置している。神戸運輸監理部では、同本部の西日本総支部兵庫支部の幹事会に参加するほか、同支部が行う安全衛生相互点検パトロール等に同行するなどの支援、協力を行っている。平成28年度は10事業所を関係者とともに入検し、指導した。

平成28年度に死亡災害（はさまれ、墜落）が発生した2事業者に対しては、特別監査を実施した。